

各位

2002年11月15日

会社名 株式会社 高島屋  
 代表者名 取締役社長 増倉一郎  
 コード番号 8233

## 2002年10月度 高島屋営業報告

### 主要店舗および広域事業売上高前年増減率

	売上高増減率(%)	入店客数増減率(%)	営業日数増減数
東京店	3.4	1.3	±0日
横浜店	2.6	2.3	±0日
新宿店	2.3	0.2	±0日
関東9店計	2.7	1.3	
大阪店	1.1	9.5	±0日
京都店	4.5	7.6	±0日
関西9店計	3.1	6.4	
全店計	2.9	3.5	
法人事業	4.1		
通信販売事業	18.2		
広域事業(店外)計	7.6		
合計	3.3		

各店の売上高増減率は、店頭ベース。

関東9店=東京、横浜、新宿、玉川、立川、大宮、柏、高崎、港南台  
 関西9店=大阪、和歌山、京都、洛西、堺、泉北、岡山、岐阜、米子  
 建装事業は、別会社化にともない2001年9月より広域事業から除く。

### 商品別売上高前年増減率(百貨店協会商品区分)

紳士服・洋品	4.2
婦人服・洋品	2.7
子供服・洋品	8.8
その他の衣料品	7.7
衣料品計	2.6
身の回り品	0.4
家具	3.0
家電	31.1
その他の家庭用品	8.3
家庭用品計	8.6
食料品	2.7
食堂・喫茶	0.5
雑貨	7.5
サービス	0.2
その他	14.0
合計	3.3

### 概況

百貨店事業	<p>売上高は月初の台風上陸(関東地方)や気温上昇による季節商材の売上不振に加え新宿店、京都店等でリニューアル効果が一巡した事もあり、気温の低下した下旬以降はやや回復したものの、全店計では3ヵ月ぶりに前年実績を下回った。</p> <p>店舗別でも柏店(+0.9%)、堺店(+0.8%)を除いては主力大型店をはじめ各店舗とも軒並み低調な結果に終わった。</p> <p>商品別では旅行用品が牽引した紳士雑貨(+1.5%)や婦人雑貨(+0.4%)等は堅調に推移したものの、主力の婦人服(4.6%)・紳士服(4.4%)が重衣料の動きが鈍く苦戦した他、特選衣料雑貨(1.4%)、子供服・ベビー(8.6%)、スポーツ(8.3%)、食料品(0.2%)等も前年実績を下回った。</p>
広域事業	<p>法人事業は大口物件の受注増により前年実績を確保したものの、通信販売事業は主力である衣料品・リビング用品等の不振により前年実績を大幅に下回った。</p>

以上